

の為には、しつかりした集団の形をとり、共販体制が整わねばなりません。そしてビニールの利用等でおそい季節まで生産が続けられるような技術もたいせつです。

しかし、排水の悪い水田では、はじめから無理ですから、そこは思い切って水稻二期作でいきます。「米が余るという時代に……」という不安があるかもしれません、地形によって今後も米中心でいくべき所は、うんと米に力を入れるのです。

最後に、畑の利用と、これに関連して養豚ですが、甘藷澱粉の新らしい利用面が開けてきたため、甘藷を収取しても決して心配いりません。これまた、うんと

反収を上げることです。反収が上がれば、たとえ甘藷の値段が下つても、豚に食わせればよいのです。豚も自給飼料で飼う限り、肉の需要はまだまだ増える一方ですから心配いりません。

ただし、豚も二~三頭飼いでは収益は少く、手間はやはりりますので、年間二回出荷で一〇頭位は飼いたいものであります。これには甘藷一〇アール当たり二・五トントンの収穫を上げれば、三〇アーレルの甘藷を中心に十分飼える頭数です。

繁殖豚一~二頭と一しょに飼うことが最も賢明でしょう。これからもずっと苦労が続きますが、計画的にうんと頑張つて下さい。

(農業改良課)

桑園の集団化と省力養蚕を

名、鹿本、菊池、上益城、下益城の五郡で占め、いわゆる主産地を形成しています。また、最近とくに開拓地や未墾地等に新規に養蚕が導入されて、たいへん順調な実績をあげている例がたくさんあります。これは開拓當農の確立のためにも、二回出荷で一〇頭位は飼いたいものであります。これには甘藷一〇アール当たり二・五トントンの収穫を上げれば、三〇アーレルの甘藷を中心に十分飼える頭数です。

繁殖豚一~二頭と一しょに飼うことが最も賢明でしょう。これからもずっと苦労が続きますが、計画的にうんと頑張つて下さい。

ところでの「経営規模の適正化」ということですが、これは個人でそれなく、農業やたばこ等による被害の防止のためにも極めて必要なことです。また、経営規模の拡大と共に、桑の省力栽培とあわせて、飼育面では、従来の「居宅養蚕」を改め、新しい飼育法、つまり無駄な手間を省いた「省力養蚕法」に切りかえることが先決です。

これには、県ですべている簡易天幕で、農薬やたばこ等による被害の防止のためにも極めて必要なことです。

この方法は、天幕一張りの中で、飼育室(農業改良資金が利用できます)に

より「年間桑育法」が現在考えられる最も合理的な方法です。

この方法は、天幕三~四台使い、条桑育で一期に三~四箱飼育することができます。

一日も早くこの新しいやり方を積極的にとり入れられることをおすすめします。そして、桑園をふやしても労働力に十分ゆとりがあり、しかも所得の多い経営に移行されるよう祈ります。

これから桑園經營では、合理化の目標を飼育量一人当たり五箱、一日八時間当たり労働報酬七百円程度までに倍増して、安定した経営をうちたてる事が私達のねがいです。

しかも飼育労力は、これまでの半分以下ですみますから、同じ人員で今までよりもっとたくさん飼えますし、他の農作物とのつり合いもそれ、またとくに、養蚕と畜産とを組み合わせる等で、さらに所得の増大をはかることが容易になります。

一日も早くこの新しいやり方を積極的にとり入れられることをおすすめします。そして、桑園をふやしても労働力に十分ゆとりがあり、しかも所得の多い経営に移行されるよう祈ります。

これから桑園經營では、合理化の目標を飼育量一人当たり五箱、一日八時間当たり労働報酬七百円程度までに倍増して、安定した経営をうちたてる事が私達のねがいです。

養蚕はどうなる?

私は城北の養蚕地帯の一農民で、家は昔から養蚕に力を入れています。現在水田二〇アール、畑七十五アールを耕作し、桑園はそのうち約二〇アールです。

とくにこれといった有利な換金作物もない現在、わが家の經營の中でも養蚕に頼る面は非常に大きいわけです。そこで、もう少し桑園をふやしたいのですが、家族労働は妻と私の二人で、今のところ人手が足りないのが悩みです。

これからわが家の養蚕經營の方針を立てる前に、県は養蚕營の中で養蚕に頼る面は非常に大きいわけです。そこで、もう少し桑園をふやしたいのですが、家族労働は妻と私の二人で、今のところ人手が足りないのが悩みです。

これからわが家の養蚕經營の方針を立てる前に、県は養蚕營の中で養蚕に頼る面は非常に大きいわけです。そこで、もう少し桑園をふやしたいのですが、家族労働は妻と私の二人で、今のところ人手が足りないのが悩みです。

尋ねしたいと思います。お教えて下さい。(玉名郡菊水町 S生)

県計画の中に盛り込まれた、養蚕振興の方向をご説明しましよう。

五年度三、五一七トンの九四%を玉

零細林業家の考え方

私は田畠三十二アールと山林二十五公頃ほどを經營している農家ですが、不便な山村のことで、所得増加どころではありません。このようないくつかの問題を今後有利に經營していくには、どんな考え方で進んだら良いでしょうか。

まずあなたの家の経済(生産する面と消費する面と二つを考えて見ましよう)がどうなっているかをしらべて、目標を定め、その目標を達するためには農業と林業の經營をどう組み合わせていくかを考えれば、おのずからその方向は定まるでしよう。

しかし、人によつては山の木は不時の出費に間にあれば良いという人もあるでしょうが、そういう考え方で山林を經營していくことは考え方直すことが大切でしよう。次の八つの事項を十分お考えになつて下さい。

(1) 林業經營の計画は、農業經營など全体的な長期經營計画の中で、他との関連を十分考へた計画をたてる。そのため、できれば農家簿記をつけて經濟的な面を明らかにすると共に、労働の報酬を高くするよう、これまで慣習的に行つてきた農業の手間をはぶいて、林業にもっと多くの手間をふりあって、価値の高い生産物を生産するよう

(2) 輪伐ができるよう計画する。三公頃の人工林を上手に經營すれば、毎年三〇~四〇万円の収入を得ることができるのである。

(3) 資金、土地、労働を持ちよつて、協同作業や法人化するのも一つの方法です。

(4) 森林組合を活用し、共販市場等で有利な販売と、資金面の緩和をはかるよう工夫する。

(5) 林種転換をして用材林をなるべく多く仕立てるほか、二段林、特用樹、間作など、土地を高度に利用するよう工夫する。

(6) 輪伐ができるよう計画する。三公頃の人工林を上手に經營すれば、毎年三〇~四〇万円の収入を得ることができるのである。

(7) 資金、土地、労働を持ちよつて、協同作業や法人化するのも一つの方法です。

(8) 森林は必ず実測して、現況を十分かんでおくともいいせつです。

零細漁師のなやみ

いわし船曳網や、ばら網刺網、いか一本釣等をやつてあることを思いますが、今後どうすればよいか、お教えて下さい。(天草郡新和町 小舟生)

大体以上のようなことが考えられます。が、このことは、自ら取りくむ意欲で実践

(林業 経営、治山課)

県では「県計画」で、私たち零細漁民のことも考へておられることと思いますが、今後どうすればよいか、お教えて下さい。

(天草郡新和町 小舟生)

まず第一に、操業人員を極限まで切りつめること。例えば、漁法を一貫して經營するよう改善する。木材を大いに活用し、育成から採取、販売まで、たとえば造林組合等の協同組織をつくつて、共有林の共同造林をおしやすく、経営を拡大する。

(3) 切りつめること。例えば、漁法を一貫して經營するよう改善する。

(4) 森林組合を活用し、共販市場等で有利な販売と、資金面の緩和をはかるよう工夫する。

(5) 林種転換をして用材林をなるべく多く仕立てるほか、二段林、特用樹、間作など、土地を高度に利用するよう工夫する。

(6) 輪伐ができるよう計画する。三公頃の人工林を上手に經營すれば、毎年三〇~四〇万円の収入を得ることができるのである。

(7) 資金、土地、労働を持ちよつて、協同作業や法人化するのも一つの方法です。

(8) 森林は必ず実測して、現況を十分かんでおくともいいせつです。

また、共同集荷や共同出荷、共同加工など、共同化することがより有利であることを研究して下さい。

本県の漁業從事者の一人一日当たりの所

(水産課)

零細漁師のなやみ

いわし船曳網や、ばら網刺網、いか一本釣等をやつてあることを思いますが、今後どうすればよいか、お教えて下さい。

(林業 経営、治山課)

まず第一に、操業人員を極限まで切りつめること。例えば、漁法を一貫して經營するよう改善する。

(3) 切りつめること。例えば、漁法を一貫して經營するよう改善する。

(4) 森林組合を活用し、共販市場等で有利な販売と、資金面の緩和をはかるよう工夫する。

(5) 林種転換をして用材林をなるべく多く仕立てるほか、二段林、特用樹、間作など、土地を高度に利用するよう工夫する。

(6) 輪伐ができるよう計画する。三公頃の人工林を上手に經營すれば、毎年三〇~四〇万円の収入を得ることができるのである。

(7) 資金、土地、労働を持ちよつて、協同作業や法人化するのも一つの方法です。

(8) 森林は必ず実測して、現況を十分かんでおくともいいせつです。

また、共同集荷や共同出荷、共同加工など、共同化することがより有利であることを研究して下さい。

(水産課)